

9 研究活動と研究環境

進捗状況報告

21世紀COEプログラムでの英語教育などを継続すべく、可能な限り21世紀COEプログラムの後継プログラムとして設立された先端社会研究所との連携によって実施する。しかし予算措置を必要とするものについては、全学的な実施を要望すると共に、研究科としては大学院GPプログラムなど外部資金の導入を目指している。

学内第三者評価

予算の制約を受けつつ、研究活動のさらなる活性化と研究成果の公表を適切に支援する措置など、設定されてきている目標の実現を着実に目指していくことが期待される。

— 以下全学共通 —

研究成果の発表状況について以下の表のとおりであることに留意されたい。

学部	年度	著書	論文	レター付論文	学会報告	学術発表	翻訳	調査報告	書評	評論	事典	辞典	講演	招待講演	特許取得	特許出願
	2001	37	47	10	29	0	5	7	3	1	1	0	14	4	0	0
	2002	31	50	7	27	0	2	10	9	2	2	0	9	1	0	0
社会学部	2003	32	59	11	24	0	3	8	7	6	0	8	5	0	0	0
	2004	27	40	3	31	0	3	2	6	1	0	1	1	1	0	0
	2005	21	31	12	18	0	2	1	3	2	0	1	1	6	0	0
	2006	18	51	8	32	0	2	0	3	6	1	2	8	3	0	0
	2007	20	34	2	18	0	1	1	2	1	3	0	3	10	0	0
計		186	312	53	179	0	18	29	33	19	7	12	41	25	0	0

(基本的な指標データNo9211、「関西学院大学研究業績データベース」に登録されている件数)